

エコアクション 21

環境経営活動レポート

(2025年2月1日~2026年1月31日)

株式会社 ケイ・ワイ

代表取締役 広瀬 一樹

2026年3月18日



目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境実施体制
5. 環境経営目標の達成状況の評価、並びに次年度の取り組み内容
6. 次年度以降環境経営目標
7. 環境活動計画・実施状況評価
8. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.組織の概要

【会社名】 株式会社 ケイ・ワイ
【代表者】 代表取締役 広瀬 一樹
【所在地】

本社登記	本社事務所
神奈川県横浜市保土ヶ谷区	神奈川県横浜市保土ヶ谷区
峰岡町 3-381-37	宮田町 3-320-4
	TEL 045-442-6416
	FAX 045-442-6417

【環境管理責任者】 広瀬 大輔

【事業の規模】 2025年度（2024年10月～2025年9月）

売上高 590,888千円

延床面積 本社事務所 54㎡ 倉庫 50㎡

従業員数 14名

【事業内容】 空気調和設備設計施工
ダクト設備設計施工
給排水衛生設備設計施工
空調機器メンテナンス

【建設業許可】 管工事業 神奈川県知事許可（般-2）第51439号

【第一種フロン類充填回収業者】

神奈川県知事 神（気水）第1-2303号

東京都知事 登録番号 13106870

2.対象範囲

【認証・登録対象組織】

株式会社 ケイ・ワイ 本社

【認証・登録対象活動】

空気調和設備設計施工 ダクト設備設計施工

給排水衛生設備設計施工 空調機器メンテナンス

3.環境経営方針

基本理念

株式会社ケイ・ワイは事業活動の環境負荷を認識し、地域の豊かな自然を次世代に伝えます。そのために従業員一同は環境問題の基礎的知識を高め、循環型社会の構築と地球温暖化防止の活動に継続的に取り組みます。

行動指針

1. 当社の事業活動による環境負荷削減を実行する為に、下記の行動指針を定め全従業員で取り組みます。

- ① 電力・化石燃料の節減による、二酸化炭素排出量の削減
- ② 節水による水使用量の削減
- ③ 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル促進
- ④ 地域の工事における環境配慮型工法の促進
- ⑤ 地域貢献活動の推進

2. 環境関連法規・条例・その他規制を遵守する。

3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。

4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

2022年2月25日

株式会社 ケイ・ワイ

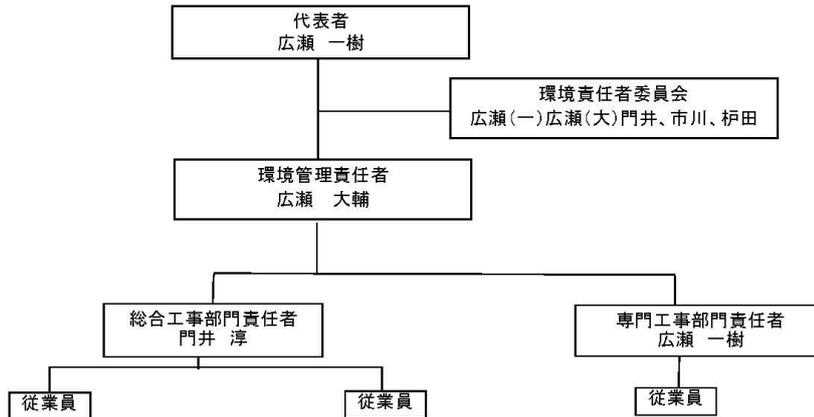
代表取締役 広瀬 一樹

4.環境実施体制

建設実施体制及び責任・権限表

作成 2021年09月14日

承認		作成
代表者		



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境責任委員会	1. 環境管理責任者の任命の助言 2. 環境経営方針の制定の助言 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備支援 4. 環境経営システムの定期的見直しの助言
環境管理責任者 (総務部門兼任)	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 6. 建設現場の作業員への簡単な教育(騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応)、指示 ※ 下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

(回覧ルート)

社長→全部門責任者、環境管理責任者

改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者
1	「環境方針」を「環境経営方針」に読み替え	2023.6.9	広瀬	広瀬

5.環境経営目標

環境経営目標	単位	基準(実績)	目標(2年目)	目標(3年目)	中期目標	
		2022年度	2024年度	2025年度	2028年度	
		2022年2月1日～ 2023年1月31日	2024年2月1日～ 2025年1月31日	2025年2月1日～ 2026年1月31日	2028年2月1日～ 2029年1月31日	
1 ・ 二酸化炭素排出	総CO2排出量 (事務所共有電力分込)	kg-CO ₂	90,736	84,172	93,626	88,944
	電力使用量 (事務所分のみ)	kwh	4,884	5,500	5,500	5,500
	ガソリン使用量	L	36,104	36,281	40,356	38,338
2 ・ 3 廃棄物	一般廃棄物総排出量 事務所	kg	85	82	80	80
	産業廃棄物総排出量 (受注量の拡大に応じて増加)	m3	37	140	155	160
	内再資源化量	m3	14.8	60	66.0	68
	再資源化率 (再資源化量/総排出量)	%	40%	43%	43%	43%
の4 削・ 減水	上下水道使用量 事務所	m3	24.00	23.00	23.00	23.00
5 出 ・ フロン 排 抑制	回収対象台数 (受注拡大を目指す)	台	44	60	75	80
	回収量	kg	808.8	1300	1400	1500
境6 活動 配慮 環境	省電力、高効率化の 提案件数	回	10	30	40	40

注(1)基準(実績)は、購入電力のCO2排出係数0.457kg-CO₂。

2024年度以降の目標値は事務所の一部にミツウロコでんきのCO2排出係数0kg-CO₂/kWhを使用。

ビル共有部の電力CO2排出係数0.457kg-CO₂。

6. 環境経営目標の達成状況の評価、並びに次年度の取組み内容

環境経営目標	単位	目標	運用期間実績	達成結果	評価及び次年度の取組み内容	
		2025年度	2025年度			
		目標	運用期間実績			
		2025年2月	2025年2月			
		～2026年1月	～2026年1月			
1 ・ 排出 二酸化 炭素	CO2排出量 (ビル共有部込)	kg-CO2	93,626	89,518	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年式の古い車両1台を新車へと買い替えを行ったことが、CO2排出量削減に寄与 ・事務所電気使用量も目標使用量を下回ることができた。 ・静岡県内の工事が増加傾向にあるが、遠方地の場合に宿泊を推奨することでガソリン使用量が削減されている。引き続き貨物車以外の車両をハイブリットへの切り替えを検討。
	電力使用量 (事務所使用分のみ)	kwh	5,500	5,477	○	
	ガソリン使用量	L	40,356	37,156	○	
2 ・ 3 ・ 廃棄物	一般廃棄物総排出量	kg	80	75	○	<ul style="list-style-type: none"> ・解体を伴う工事の受注が減少したことから排出量は減少。再資源化については目標達成しており、引き続き廃棄物をできるだけ分別するようこえかえを行う。 ・温廃処理ではなく、分別廃棄により再資源化を図るよう社内で周知。分別廃棄喚起の掲示により分別の意識改革は進められている。 ・現状の分別箱は金属、紙、温廃で分けられている。廃プラ、陶器くずの排出も増えていることから分別箱を新たに設けることでさらなる分別を勧めたい。
	産業廃棄物総排出量	m3	155	55	○	
	内再資源化量	m3	66	25	○	
	再資源化率	%	43%	43%	○	
の4 削・ 減水	水道使用量	m3	23	12	○	・継続して節水意識維持したい。次年度も引き続き取り組む。
5 ・ 抑制 フロン 排出	フロン機器回収台数	台	75	83	○	<ul style="list-style-type: none"> ・当期はのフロン回収量は目標を下回ったものの、機器回収台数については目標も達成した。新冷媒への切り替えに伴い今後も機器交換工事の増加が見込まれる。
	フロン回収量	kg	1,400	552.53	×	
配6 慮・ 活環 動境	省電力高効率化施工の提案件数	件数	40	82	○	・年間で246件の見積もりを提出そのうち一現場に対して複数の見積りを提案した件数を計上。評価方法変更の検討が必要。

注(1)基準(実績)は、購入電力のCO2排出係数0.457kg-CO2]

2024年度以降の目標値は事務所の一部にミツウロコでんきのCO2排出係数0kg-CO2/kWh]を使用。

ビル共有部の電力CO2排出係数0.457kg-CO2。

7 環境活動計画・実施状況評価

基準年度:2023年度 評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

NO.	2025年目標	施策	責任者	2025年												2026 1月	
				2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
1.1	電力使用量の削減 (事務所) 5,935kWh ↓ 5,500kWh	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン管理(電源Off)の適正化 ・エアコン温度設定 使用時間最適化 ・利用頻度の低い機材の主電源off ・ネットワーク機器省電力機器へ入替 	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				前年使用電気量	5,935	484	471	387	325	336	718	876	797	373	313	366	489
				本年使用電気量目標	5,477	542	431	337	300	384	667	696	582	289	294	384	571
				評価													
1.2	自動車燃料使用量の削減 (現場) 36,104L 40,356L	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの実行 ・車輛別タイヤ空気圧管理 ・エコドライブの実施依頼 ・年式の古い車両の買い替え ・トラック購入準備 調査 	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年ガソリン使用料	38,700	2,949	2,844	3,096	3,002	3,422	3,775	3,896	3,247	2,992	3,010	3,459	3,008
				本年ガソリン使用料	37,157	3,623	3,235	3,034	3,119	3,011	3,545	2,663	3,059	3,045	2,779	3,117	2,927
				評価													
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 (事務所) 85kg 80kg	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の分別 ・印刷物での営業書類受取辞退 ・不要紙裏面活用 	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年廃棄物量	75	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				本年廃棄物量	75	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				評価													
2	廃棄物排出量の増加 産業廃棄物総排出量 (現場) 37m3 155m3	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺工事の受注提案 ・マニフェスト発行 	門井	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年廃棄物量	61.3	4.2	2.1	8	8.1	8.7	0	14.5	0	5	0	4.5	6.2
				本年廃棄物量	75.25	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				評価													
3	混廃棄物排出量の削減 産業廃棄物の 内再資源化率 (現場) 14.8% 28%増 43%	<ul style="list-style-type: none"> ・置場のレイアウト変更検討実施 ・分別の周知 	門井	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年再資源化率	41%	100%	100%	76%	55%	50%	50%	49%	49%	45%	45%	42%	41%
				本年再資源化率	45%	38	38	36	36	29	41	41	44	45	45	45	45
				評価													
4	水資源投入量の削減 (事務所) 現状維持 23㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・元栓絞込み ・配管水漏れチェック 	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年水道利用料	24	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2	2	1.25	1.25
				本年水道利用料	24	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2	2	1.25	1.25
				評価													
5	フロン排出抑制 フロン回収現場増やす (現場) 42台 75台	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン取扱い厳罰化の周知 ・フロンによる環境負荷周知 	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年フロン回収台数	230			7	10	14	118	44		3	7	22	5
				本年フロン回収台数	83	38			15	1	2	5		9	12		1
				評価													
6	環境配慮活動 省電力、高効率化の 提案 41回 ⇒40回	<ul style="list-style-type: none"> ・機器能力比較資料作成 ・施工方法の比較提案 	広瀬	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
				前年提案件数	41	2	3	4	8	1	1	2	5	4	4	2	5
				本年提案件数	92	4	11	13	9	11	6	6	10	12	1	5	4
				評価													
NO.	評価・確認 月日	評価・確認事項(定期、臨時)															
1																	

8. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果違反、訴訟等の有無

環境関連法規への対応

環境関連本法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守年月日(2026年1月30日) 遵守評価者(広瀬)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託計画	契約(書)の締結	○契約書
	マニフェストの管理	管理	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事報告	6月30日までに提出	○
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	対象工事無
一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		○(分別状況)
騒音・振動規制法	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	対象工事無
	地域住民との取り交わし		対象工事無
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	○
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	対象工事無
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材量提案	事業者の一般的責務/工事計画書	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
建設業法	工事業者登録と更新及び技術士登録	登録と5年ごとの更新及び資格者登録	○(更新)
フロン排出抑制法 フロン排出抑制法2条、4条、18条の2	業務用エアコン簡易点検。冷蔵機器及び冷凍機を廃棄する場合、第1種フロン回収業者への引渡義務、廃棄に伴うフロン類の回収・破壊費用負担。	フロン回収行程管理票 3年保管	○
大気汚染防止法 石綿障害予防規則	事前調査・作業計画・隔離作業等・作業届出	事前調査し対象であれば専門業者へ対応依頼	○
建築基準法、道路法、 上下水道法、河川法	工事基準の遵守、各種申請手続きの適正処理		○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、外部からの苦情、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2026年3月11日		
見直し対象期間	2025年2月～2026年1月		
代表者による全体評価	<p>弊社は「できることからコツコツと」をモットーに環境活動を継続し、4年目となる本年度、一項目を除きほぼ全ての目標を達成することができました。</p> <p>課題であったガソリン使用量の削減については、従来の日帰り対応現場を宿泊主体へと切り替えたことが大きく寄与しています。発注者への費用転嫁や社員手当の新設といった課題を一つひとつクリアしたことで、移動距離の短縮のみならず、従業員の疲労軽減による安全工事の徹底という相乗効果も生まれました。</p> <p>一方、フロン類の回収については回収作業台数は目標を上回ったものの、総回収量としては目標に届かず一部未達成となりました。しかし、法規制の遵守状況に問題はなく、外部からの苦情も発生しておりません。環境経営システムは着実に有効性を発揮し始めており、次年度は作業精度のさらなる向上と、LINE等を活用した社内啓発により、システムの定着を図ってまいります。</p>		
	目標項目	目標達成状況	実施状況の評価
	CO2排出量削減	○	期間内に年式の古い車両の買替えを1台行ったことで燃費の向上がはかれた。翌期は人員増のため軽自動車1台増車予定だが、業務に支障のない範囲で可能な限り車以外での移動の推奨をし中期目標値を維持する。
	廃棄物再資源化	○	総廃棄物における混廃の割合は前年同様であった。現状、紙/金属/その他で分けられている箱に、陶器/プラの箱を追加することで分別廃棄意識を高めたい。
	水使用量削減	○	継続して節水意識維持したい。次年度も引き続き取り組む。
	フロン排出抑制	△	回収量は達成したものの改修台数は減少。R410A製造禁止となり、地球温暖化係数のより低いR32などの機器への交換が今後も増えることが予想される。今後も取扱量を増やしたい。
	環境配慮活動	○	従来は重複する工事名の見積作成件数のみを計上していたが、より実効性のある活動とするため、ファイル名に「省エネ提案」と明記する運用を始めることで、環境配慮提案を可視化する。
見直しの指示	見直し項目	変更の必要性の有無	
	環境経営方針	有	(無)
	環境経営目標及び環境活動計画	(有)	無
	環境経営システム(実施体制を含む)	有	(無)

株式会社 ケイ・ワイ

代表取締役 広瀬 一樹

10.新年度環境経営目標

環境経営目標		単位	基準(実績)	目標(5年目)	目標(6年目)	中期目標
			2022年度	2026年度	2027年度	2028年度
			2022年2月1日～ 2023年1月31日	2026年2月1日～ 2027年1月31日	2027年2月1日～ 2028年1月31日	2028年2月1日～ 2029年1月31日
1 ・ 二 酸 化 炭 素 排 出	総CO2排出量 (事務所共有電力分込)	kg-CO ₂	90,736	87,000	88,160	88,944
	電力使用量 (事務所分のみ)	kwh	4,884	5,500	5,500	5,500
	ガソリン使用量	L	36,104	37,500	38,000	38,338
2 ・ 3 廃 棄 物	一般廃棄物総排出量 事務所	kg	85	80	80	80
	産業廃棄物総排出量 (受注量の拡大に応じて増 加)	m3	37	140	155	160
	内再資源化量	m3	14.8	66	67.0	68
	再資源化率 (再資源化量/総排出 量)	%	40%	47%	43%	43%
の4 削・ 減 水	上下水道使用量 事務所	m3	24.00	23.00	23.00	23.00
5 出 ・ フ ロ ン 排 出 抑 制	回収対象台数 (受注拡大を目指す)	台	44	77	79	80
	回収量	kg	808.8	1300	1400	1500
境6 活 配 ・ 慮 環	省電力、高効率化の 提案件数	回	10	25	35	40

注(1)基準(実績)は、購入電力のCO2排出係数0.457kg-CO₂]

2024年度以降の目標値は事務所の一部にミツロコでんきのCO2排出係数0kg-CO₂/kWh]を使用。

ビル共有部の電力CO2排出係数0.457kg-CO₂。

(2)環境配慮活動件数評価方法を2026年度より変更

11.新年度環境経営計画

基準年度:2023年度 評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

NO.	2025年目標	施策	責任者	2026年												2027	
				2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
1.1	電力使用量の削減 (事務所) 5,935kWh ↓ 5,500kwh	<ul style="list-style-type: none"> パソコン管理(電源Off)の適正化 エアコン温度設定 使用時間最適化 利用頻度の低い機材の主電源off 社内サーバーのクラウド化 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年使用電気量	5,477	542	431	337	300	384	667	696	582	289	294	384	571
				本年使用電気量目標	5,477	542	431	337	300	384	667	696	582	289	294	384	571
				評価													
1.2	自動車燃料使用量の削減 (現場) 36,104L 37,500L	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの実施依頼 年式の古い車両の買い替え トラック購入準備 調査 車両管理システム導入検討 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年ガソリン使用料	37,157	3,623	3,235	3,034	3,119	3,011	3,545	2,663	3,059	3,045	2,779	3,117	2,927
				本年ガソリン使用料	37,500	3,000	3,000	3,000	3,100	3,100	3,100	3,000	3,000	3,300	3,300	3,300	3,300
				評価													
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 (事務所) 85kg 80kg	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の分別 印刷物での営業書類受取辞退 不要紙表面活用 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年廃棄物量	75	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				本年廃棄物量	75	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				評価													
2	廃棄物排出量の増加 産業廃棄物総排出量 (現場) 37m3 140m3	<ul style="list-style-type: none"> 周辺工事の受注提案 マニフェスト発行 	門井	<input type="checkbox"/>													
				前年廃棄物量	75.25	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				本年廃棄物量	75.25	6.7	5.7	6.6	5.65	5.75	7.05	6.15	7	6.75	5.7	6.6	5.6
				評価													
3	混廃棄物排出量の削減 産業廃棄物の 内再資源化率 (現場) 14.8% 47%	<ul style="list-style-type: none"> 置場のレイアウト変更検討実施 分別の周知 	門井	<input type="checkbox"/>													
				前年再資源化率	45%	38	38	36	36	29	41	41	44	45	45	45	45
				本年再資源化率	47%	40	41	42	43	44	45	45	45	45	46	47	47
				評価													
4	水資源投入量の削減 (事務所) 現状維持 23m ²	<ul style="list-style-type: none"> 元栓絞込み 配管水漏れチェック 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年水道利用料	24	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2	2	1.25	1.25
				本年水道利用料	24	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2	2	1.25	1.25
				評価													
5	フロン排出抑制 フロン回収現場増やす (現場) 42台 77台	<ul style="list-style-type: none"> フロン取扱い厳罰化の周知 フロンによる環境負荷周知 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年フロン回収台数	83	38	5	5	15	1	2	5	9	12	1		
				本年フロン回収台数	77	5	5	5	6	6	6	7	7	7	7	8	8
				評価													
6	環境配慮活動 省電力、高効率化の 提案 41回 ⇒25回	<ul style="list-style-type: none"> 見積表題変更依頼 施工方法の比較提案 月一回共有LINEでの社員向け啓蒙 	広瀬	<input type="checkbox"/>													
				前年提案件数	92	4	11	13	9	11	6	6	10	12	1	5	4
				本年提案件数	25			1	2	2	2	3	3	3	3	3	3
				評価													
NO.	評価・確認 月日	評価・確認事項(定期、臨時)															
1																	